

だいせん 市議会だより

DAISEN CITY COUNCIL NEWS



1月5日、平成22年大仙市消防出初式が大曲市民会館で開催されました。各地域の消防団員約900人が参加し、式典の前には観閲式と分列行進も行われました。小雨が降る中、真剣な表情の消防団員の皆さんからは消防や防災活動への高い意気込みが感じられました。

主な内容

CONTENTS

- | | |
|-------------------------|-----|
| ■新春を迎えて～議長あいさつ～ | 2 |
| ■平成21年第4回（12月）定例会の概要 | 3 |
| ■5人の議員が一般質問 | 4～6 |
| ■第6回臨時会の概要 | 6 |
| ■平成20年度一般会計・特別会計決算審査の概要 | 7 |
| ■委員会審査のあらまし | 8 |
| ■先進地に学ぶ、請願・陳情・意見書 | 9 |





新春を迎えて

大仙市議会議長 児玉裕一

明けましておめでとうござい
ます。

市民の皆様には、輝かしい平成22年の新春を迎え、早一月、ご健勝にお過ごしのこととお喜び申し上げます。

また、年末からのまとまった降雪により、除雪作業等へのご苦勞をお察しするところで、

新年の喜びとして、魁杯争奪第38回県ミニバスケットボール交歓大会女子の部において、四ツ屋ウインスマイルズが準優勝、神宮寺が第三の栄誉に輝いたことに、心からお祝いを申し上げますとともに、明日の大仙市を担う児童・生徒の皆さんの日々の努力と一層のご活躍に期待を寄せるところです。

今年「大曲の花火百年」を記念する年に当たり、花火を通して未来へ夢と創造を発信する年になるよう囑望するところであります。また、市町村合併以前から検討を重ね、最優先の課

題の一つであります仙北組合総合病院の改築事業が、国の地域医療再生臨時特例交付金の内示を受けたことにより、一日も早い正式決定を得て、大仙市はもとより本医療圏の中核病院としての医療整備が図られることを望むところであります。

さて、市議会も昨年9月の改選を経て、市民の皆様の負託と信頼に応え、地方分権時代に即した市議会の改革を目指すため12月定例会会期中に議員定数・政治倫理条例・議会基本条例の三つの検討委員会を設置したところであります。

今後とも住民福祉の向上に向けた、市議会の改革と活性化に努めてまいりますので、ご理解とご協力をお願い申し上げますとともに、平成22年が市民の皆様にとりまして幸多き一年となりますことをご祈念申し上げます。新年のあいさつといたします。

平成21年 第4回(12月)定例会

41件の議案、2件の請願、11件の陳情を議決

第4回(12月)定例会は12月4日に招集され、12月22日までの19日間の会期で行われました。

本会議第1日目に人事案2件、条例案9件、単行案23件、補正予算案7件の計41件が上程され、同日に人事案2件と補正予算案1件を同意、原案可決とし、4日目の最終日に残りの議案をいずれも原案可決と決しました。主な概要は次のとおりです。

人事案

▽副市長の選任に同意



久米正雄氏
(藤木・再任)

▽人権擁護委員の候補者の推薦に同意



伊藤忠志氏
(南外・再推薦)

条例案

▽大仙市税条例の一部を改正する条例の制定について

市内の温泉施設について、灯油価格の高騰などに伴う経営負担の軽減を目的として、平成20年4月1日から平成22年3月31日まで、日帰りの場合における入湯税の税率を減じておりますが、経済情勢の悪化などに

より、依然として経営が圧迫されている状況であることから、引き続き2年間、この措置を継続するもの。施行日は平成22年4月1日
入湯税▽日帰りの場合150円
↓50円(100円の減額)

▽大仙市立保育所設置条例の一部を改正する条例の制定について

仙北北保育園は、老朽化や児童減少により廃止する方針でありましたが、用途廃止により国への補助金返還が生じることなどから、平成15年度以降、休止としておりました。今般、国の基準緩和により補助金返還が不要とされたことを受け、これを廃止するもの。また、大仙市立保育所法人化実施計画に基づき、平成22年度にみつば保育園及び淀川保育園を社会福祉法人大空大仙に移譲するため、これらを廃止するもの。仙北北保育園の廃止は22年1月1日。みつば保育園と淀川保育園の廃止は22年4月1日。

▽大仙市公園条例の一部を改正する条例の制定について

市に寄附していただいた大曲住吉町地内の土地及びこの土地に公園として整備した施設について、寄付者の意向を尊重し、市の一般公園として供用するため、寄付者の命名による名称及び位置を規定するもの。また、神岡中央公園及び仙北ふれあい公園について、これまで一般公園として規定しておりましたが、今般、改めて地区公園として位置づけるもの。施行日は公布の日とするものです。

一般質問

仙北組合総合病院の移転改築について



公明党
杉 沢 千恵子 議員

◆今後、関係者からなる建設協議的な組織が立ち上がり検討されると思うが、議論についてはオープンなものにして欲しいと思うが。

【栗林市長】病院本体の建設については、秋田県厚生連の事業としての実施を予定しており、協議の場をどの様に設定するかは、秋田県厚生連が主体となり進めることと考えます。病院の改築は当圏域の住民の関心の高い事業であることから、新病院の構想が固まり次第、住民の皆様にも説明くださるよう、要請して参りたいと存じます。

◆病院建築に関して市民債を発行し、積極的な市民参加を促してはどうか。

【栗林市長】平成18年12月に県内の市町村に先駆けて、現在の学校給食総合センター建設資金の一部に住民参加型市場公募債の「だいせん夢未来債」を発行しております。市民生活に特にかわりの深い事業については、積極的に活用すべきとの考えでございました。

病院の改築に対する支援については、市民の理解と積極的な市民参加を促す観点から、市民債による資金調達を考えておりました。発行の際はご協力を



移転改築が待たれる仙北組合総合病院

お願い申しあげます。

深刻化する介護現場について

◆介護充実のためには、地域の介護力の開発が不可欠だと思いが、本市の取り組みはどうか。

【栗林市長】大仙市地域福祉計画及び大仙市高齢者プランにおいて、地域ぐるみで高齢者を見守り、支援していくためのネットワークづくりを掲げており、これを実現する手段として地域ケア体制を整備することとしております。これは地域包括支援センターや市社会福祉協議会、医療機関、サービスマスター等の機能の連携により総合的に地域の要援護者を支え合おうとするもので地域における介護力の向上につながるものと考えております。

※杉沢議員はこれらの質問の他、「薬物汚染から若者を守ることに」、「自殺予防対策について」「子どもたちに対する支援について」の質問も行いました。

一般質問

今後の財政運営について



新政会
茂 木 隆 議員

◆実質公債費比率・将来負担比率が高い数値を示しているが、今後予定されている仙北組合総合病院改築事業や第二地区土地区画整理事業などの実施による他の普通建設事業への影響はないのか。

【栗林市長】実質公債費比率については国の定める基準値を超えたことから、市債の発行については、これまでの協議制から許可制へ移行するほか、比率の改善に向け、公債費負担適正化計画に従って今後の財政運営を進めて行くこととなります。事業規模の大きな大曲駅前第二地区土地区画整理事業を始めとして、各事業について再度実施計画の見直し作業を行っております。各年度の市債発行額については、28年度までの公債費負担適正化計画期間における市債発行総額以内での調整を図って行かなければならないことから、病院建設が本格化すると予想される24年度以降については、計画されている他の普通建設事業の更なる事業費の圧縮や事業年度の繰り延べ、また、事業の中止といった影響が出てくるものと考えられます。

農業問題について

◆国の政策が大きく変わることが予想される中、行政と関係団体が一体となり、市独自の新たな中長期的農業振興計画に着手し、名実共に農業立市を目指してもらいたいと考えるが、見解は

【栗林市長】農業を基幹とする本市にとりまして、農業政策の方向は農業法人や集落営農組織、認定農業者等を中心に、農家が産業として自立できる農業の形成が一番望ましいと考えます。国による新たな農業政策に対応して、農業法人や集落営農組織、認定農業者など各地域の幅広い農業関係の方々をはじめ、JA等農業関係団体と大仙市の進むべき望ましい農業のあり方等について協議し、22年度には、新たな農業振興計画を策定してまいります。

※茂木議員はこれらの質問のほか、「社会教育について」「路線バスの運行廃止地域への対応について」の質問も行いました。



昨年8月に供用開始された大曲第二地区都市再生住宅

一般質問

大仙市の都市計画について



大地の会
石塚 柏 議員



土地区画整理事業が進む大花町地区

◆第二地区土地区画整理事業と駅西地区の位置づけについて

①第二地区土地区画整理事業の当初の事業目的は何であったのか。

【栗林市長】大曲駅前に通ずる不整形な県道等に沿って無秩序に拡大した街並が多く、災害に弱い都市構造になっております。密集市街地を安全・安心な市街地に再生し、良好な中心市街地として後世に引き継ぐことを目的に同事業を実施してまいりました。

②駅西地区のあり方はこれで良いのか。

【栗林市長】駅西地区は、自動車に過度に依存することなく、住宅、商店街、医療福祉等の都市施設がまとまりよく配置され、楽しく日常の生活ができ、歩いて暮らせる生活街として再生を図ることで、賑わいや交流が生まれることが期待できるものと考えております。

◆内環状線の事業見通しについて

①内環状線の位置づけは。

【栗林市長】都市計画道路中通線は、駅東線から大花町を経由して駅西地区に至る路線でありましたが、アクセスの強化や利便性の向上を目的に、その後、花園線を計画決定し、2路線併

せて中心市街地を周回する、いわゆる内環状道路の性格を有した線形配置としたものであります。

②土地区画整理事業の中で中通線を優先して施工が可能ではなかったのか。

【栗林市長】土地区画整理事業は面的整備により行われており、ある一定の道路を優先的に整備した場合、適切な換地先が確保できず、権利者に対し長期間の中断移転を余儀なくされることや、その間の仮住居補償が発生するなど事業費の増大のリスクが生ずるなど問題が多いのでご理解を賜りたいと存じます。

③駅東線までの完成見通しは。

【栗林市長】J・R奥羽本線立体交差部を除き完成供用しており、同事業地区内の大花町側につきましても平成27年度までの事業期間内の完成を目指し、鋭意整備を進めてまいります。

※石塚議員はこれらの質問の他、「市街地再開発事業について」「仙北組合総合病院について」等の質問も行いました。

一般質問

改定水道料金について



日本共産党
佐藤 文子 議員



平成17年度に完成された大曲地域
宇津台第二配水池

◆水道事業における料金は、同一サービス同一料金の原則で定められるべきで事業の諸条件や住む地域によって料金が異なるという差別があつてはならないと思うものであり、同一料金にするよう求めるが、これに対する見解は。

【栗林市長】上水道事業と簡易水道事業は、事業背景、経営基盤、会計手法など大きく相違しており、料金差が生じているものであります。経営状況等から判断して現段階では上水道と簡易水道料金の統一はできませんが、健全な経営体質を構築するためにも、まずは簡易水道事業の経営の強化を図り、その上で公共料金としての上水道及び簡易水道料金の統一について検討して参りたいと考えております。

◆上水道と簡易水道料金の格差は、一般家庭や施設運営の負担増など、いろいろな影響をもたらす。こうした影響について、どのように考えているのか。

【栗林市長】収益効率の悪さなど経営条件の厳しい簡易水道事業を今後とも持続していくために、一般会計からの基準内繰入金はなお充当することとし、本来必要な所要額を算定し改正す

るものであり、その改定料金の適用につきましても、22年度から31年度まで9年かけて段階的に改定し、31年4月から簡易水道地域の料金の統一をするもので、経過措置期間中は基準内のほか、これまでと同様に基準外繰入金も充当し、急激な負担増の軽減を図ることとしております。

◆介護・育児・多人数世帯の経済的事務のある家庭に水道料金の軽減を求め、いかがか。

【栗林市長】水道事業は電気事業及びガス事業同様、公益事業と位置づけられており、受益者負担の原則のもとで独立採算制により運営されるべきものとされており、電気・ガス事業においても減免措置は設定されておりませんし、県内各市町村の水道料金体系においても減免措置を講じている例はありません。

※佐藤議員はこれらの質問のほか、「住宅リフォーム助成制度の創設について」の質問も行いました。

一般質問
大曲総合庁舎の
各出張所の
廃止について



大地の会
北村 稔 議員



業務の見直しが進められる
大曲地域の公民館と出張所

◆大曲地域にある6公民館と出張所が所管する業務のうち、出張所業務については廃止し、団体事務については各団体へ移すと聞いている。団体事務とは言え、本来市が行うべき内容のものも見受けられるが、当局はどのような形での廃止を考えているのか。

①業務については。

【栗林市長】戸籍や住民票の発行取り次ぎや交通災害共済の加入受付など、主に市民に身近な業務に当たっておりましたが、道路事情の改善や車社会の到来などによりスピード化が図られたこと、合併により勤務先近くの総合支所でも同じようなサービスを受けられるようになったことなどから業務を見直し、平成22年度から実施するため、現在その準備を進めておるところです。

②人的な面については。

【栗林市長】職員体制につきましては、現在の体制を維持して参りますが、その内、花館公民館以外の公民館については、館長と職員1名について民間からの採用を予定しており、より地域に密着した活動の展開を期待しているところ です。

③廃止による経費の節減は。

【栗林市長】嘱託職員等の賃金や勤務条件等がまだ定まっておられません、現時点での試算では、人件費は約7千万円ほどの経費削減になるものと試算いたしております。

④地区住民への周知方法は。

【栗林市長】各地域の公民館において説明会を開催したほか、各公民館で地域に配付しております公民館だよりでも周知を図っているところであり、今後とも市の広報や公民館だよりで周知を図って参ります。

⑤移行期間としての経過措置は。

【栗林市長】当分の間(1~2年)は、公民館でも補助して参りますし、本庁の所管課でもサポートしながら急激な変化による団体や市民の皆さんへの混乱は避けて参りたいと考えており、サービスの低下に繋がらないようにして参ります。

※北村議員はこれらの質問のほか、「来年度の予算編成について」の質問も行いました。

**議会議員等の期末手当の支給割合を引き下げ
新型インフルエンザ対策経費などを補正**

11月9日から12日の4日間の日程で第6回臨時会が開催され、専決処分報告1件を承認、議案20件を原案どおり可決、認定と決しました。

上程された議案のうち「大仙市議会の議員の議員報酬、費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例の制定について」は、人事院勧告及び秋田県人事委員会勧告に伴い、一般職の給与改定に準じて議会議員並びに副市長、教育長、常勤監査委員、幸寿園管理者及び八乙女荘管理者に係る期末手当の支給割合を12月期は0・10月分、6月期は0・15月分を引き下げるもの。12月期の改定については公布の日から、6月期の改定については平成22年4月1日からの施行とするもの。

「大仙市一般職の職員の給与に関する条例の一部を改正する条例の制定について」は、人事院勧告及び秋田県人事委員会勧告に伴う給与改定を行うもの。期末・勤勉手当の年間支給割合を4・5月分から4・15月分に引き下げるとともに、持ち家の新築又は購入から5年間支給している月額2,500円の住居手当を廃止するもの。

「21年度一般会計補正予算(第8



号)は、人事院勧告、給与削減及び人事異動等に伴う人件費、新型インフルエンザ対策に係る経費、地域商品券助成事業費などについて歳入歳出予算の総額に9,688万4千円を追加するもの。主な補正内容では新型インフルエンザワクチン接種事業費として1億9,299万1千円、地域商品券助成事業費として2,100万円、大仙市緊急雇用助成金として1,470万円の増額補正。職員人件費は6,713万8千円の減額補正でした。

「平成20年度大仙市一般会計・特別会計歳入歳出決算の認定について」は、会期中に決算特別委員会を設置し、同委員会に審査付託され、また、そのほかの議案等は各常任委員会に審査付託され、慎重審査されたあと、本会議で議決されました。

第6回臨時会



第6回臨時会で審査内容を述べる
大山利吉決算特別委員長

厳しい財政状況を強く認識し、 簡素で効率的な 行政システムの確立を

平成20年度大仙市一般会計・特別会計決算を認定

第6回臨時会（11月9日開会）で議案として提出された「平成20年度大仙市一般会計・特別会計歳入歳出決算の認定について」は、11月9～12日の4日間にわたり決算特別委員会（大山利吉委員長）を設置し、本会議2日目（11月12日）に委員長報告を受けたあとに質疑、討論、表決を行い、賛成多数により認定されました。

委員会の審査は常任委員会単位の4分科会（総務民生・企画産業・教育福祉・建設水道）において分科会審査をした後に全体で審査をしました。各分科会の主な審査内容をお知らせいたします。

【総務民生分科会】

①財政健全化判断比率である実質公債費比率が18・9%となり、地方債発行は許可制へ移行されることになった。本市の極めて厳しい財政の状況を職員一人ひとりが強く認識し、簡素で効率的な行政システムの確立に努め

らねばならない。

②市税及び国民健康保険税の収入未済額が増となっていることから、滞納の実態に応じた適切な収納対策の更なる推進強化を講じられたい。また不納欠損処分については、今後とも慎重かつ厳正な取扱いを図られたい。

③一般財源の確保に努めるとともに、市有財産の適正な管理に努め、引き続き遊休資産の処分や施設の有効な活用を図られたい。

④ゴミの有料化において減量化が図られたとの報告であるが、分別の細分化を進めるなど、更なる減量化に努められたい。

【企画産業分科会】

①地域振興事業費については、

執行率の低さを見る限り、地域の声が届いていないのではないかと危惧される。地域の声が市政に届くような制度づくりを検討されたい。

②過大な日常業務に相当のエネルギーが費やされ、新しい事業の創出には手が回っていないように見受けられる。他市町村への視察研修、幅広いアイデアの公募等を積極的に行い、夢のある事業を企画されることを期待したい。

③農家への補助金の交付に当たっては、農家に約束した補助金の額に不足が生じることのないように慎重に見直しを立てられたい。また、名称が似ているものが多いため、受益者への説明を十分に行い、現場で混乱が生じないように留意されたい。

④所管する事業数が膨大であるにも関わらず、決算額等の数値のみの報告が大部分を占めているようである。特に、補助金・交付金を支出する事業については、受益者の満足度を何らかの形で評価し、費用対効果の判断に資するように方策を考えられたい。

【教育福祉分科会】

①不用額の多い事業や未執行の事業が見受けられる。同じやり方を踏襲するのではなく、目的や社会情勢、利用実績などに合った事務事業の見直しに努められたい。

②民生委員・児童委員の活動について、地区民生児童委員協議会や個人によってその活動内容に違いが見られる。地域で委員を引き受けてくれる方がいない事情も理解できるが、人選に当たっては地域の関係団体等とも十分連携を図られたい。

③市民の生涯学習に対する需要や期待に応えるためにも、社会教育施設の利用・管理方法についての見直しや、専門職員をはじめ人材育成にも力を入れるとともに、類似事業を行っている関係各部課と連携しながら効率的な事業運営に努められたい。

④給食費の滞納については、合併後、特に増加している状況にある。催告状の送付や個別訪問などの努力はされていると思うが、安易に不納欠損処理をせず、未収分の処理の仕方について、収納方法も含めて検討されたい。

⑤効率的な決算審査が行えるよう、当局においては、決算額の説明資料だけでなく、各事業の実績や利用率、成果・効果などが分かる詳細な資料を事前に提出していただきたい。

【建設水道分科会】

①道路維持管理費や公園維持管理費では各総合支所の積み上げにより多額の残額が見られた。特に道路維持管理費においては、各地域から舗装修繕や側溝修理など切実な要望が多数出されて

いるので、緊急性に応じ支所間での流用など、連携を図りながら、市民の負託に応えるよう努められたい。

②道路橋りょう費における市道敷地借上料は、大曲地域において68人、127筆の土地を借用し、その金額は322万6千円となっている。土地の相続登記等の問題もあるようであるが、30年前から借用している例もあり、その支払額は多額となっている。次回更新日となる平成24年4月1日までは地権者と協議の上、早急に市有財産として取得できるよう対応いただきたい。

③宅地造成事業特別会計では、各地域において分譲地の売れ残りが見られるので積極的な広報活動を通じ、早期に売却できるよう努められたい。また、特殊な事情のある分譲地においては、隣接者に売払単価を下げるなどの措置を講じ、早期の売却に努められたい。

④簡易水道事業特別会計の水道使用料の滞納者においては、今後とも引き続き条例に基づく給水の停止を実施し、収納率向上を図るよう努められたい。

⑤農業集落排水事業特別会計における分担金は地域によって大きな較差が生じている。使用料との上乘せ等も含め較差の生じないよう検討されたい。

総務民生常任委員会

当委員会に審査付託となった案件は、条例案1件、一般会計補正予算1件、特別会計補正予算1件の計3件で、いずれも原案のとおり可決すべきものと決しました。「大仙市税条例の一部を改正する条例の制定について」は、平成20年4月から2年間、日帰りの場合における入湯税の税率を50円とする軽減税率適用を22年4月から2年間延長するもの。21年度一般会計補正予算のうち所管する歳入では、地方交付税6,989万7千円、土地売払収入502万6千円、前年度繰越金581万円、借換債等の市債4億8,570万円などを増額補正するもの。歳出では、本庁舎の放送設備改修経費125万5千円を増額補正するもの。また、大仙美郷環境事業組合の20年度決算において、繰越金が多くなったことから同組合に対する負担金を2,416万4千円減額するもの。及び、市長選挙・市議会議員選挙経費の減額補正などであります。21年度大仙市国民健康保険事業特別会計補正予算は、事業勘定では、20年度医療費に係る国庫負担金の確定等により、6,364万4千円を増額補正するもの。診療所勘定では、医療用材料品の購入等で145万3千円の増額補正であります。付託された陳情6件については、採決の結果、採択が2件、趣旨採択が2件、不採択が2件と決しました。(写真は西仙北ぬくもり温泉ユメリア)



企画産業常任委員会

当委員会に審査付託となった案件は、条例案1件、単行案14件、補正予算2件で、いずれも原案のとおり可決すべきものと決しました。条例案「大仙市羽後境駅東集會施設条例の制定について」は、羽後境駅東側隣接地に整備中で、平成22年2月1日供用開始予定の多目的集會施設の設置管理条例を制定するもの。単行案14件は公の施設の指定管理者を指定するもので、すべて更新でありました。補正予算の内、平成21年度大仙市一般会計補正予算(第9号)では地域医療体制整備をスムーズに進めるための公有財産購入費、市街地再開発事業に必要な費用便益分析委託料を含む「地域医療中核施設建設等推進経費」。かみおか温泉嶽の湯において湯湯試験、湯湯管購入等を行う「嶽の湯温泉管理費」がありました。一般会計補正予算(第10号)は、平成22年3月に迎える大仙市誕生5周年を祝い、式典を行うための「大仙市誕生5周年記念事業費」、税制改正に伴い住民情報システムの改修を行う「電子計算管理運営経費」、土地改良区等が行う農業施設の新設・改良事業について要綱に基づき助成する「土地改良事業費等補助金」などでありました。他に、請願1件を趣旨採択、請願1件・陳情2件を採択と決しました。(写真は羽後境駅東集會施設)



教育福祉常任委員会

当委員会に審査付託となった案件は、条例案2件、単行案6件、一般会計・特別会計補正予算各1件で、いずれも原案どおり可決すべきものと決しました。条例案のうち、「大仙市立保育所設置条例の一部を改正する条例の制定について」は、大仙市立保育所法人化実施計画に基づき、22年度にみつば保育園及び淀川保育園を社会福祉法人大空大仙に移譲するため、施設を廃止する改正など。「大仙市特別養護老人ホーム設置条例及び大仙市老人短期入所施設設置条例の一部を改正する条例の制定について」は、大仙市立介護保険施設法人化実施計画に基づき、22年度に特別養護老人ホーム峰山荘と、これに併設する峰山荘指定短期入所生活介護事業所を社会福祉法人大仙ふくし会に移譲するため、施設を廃止するもの。一般会計補正予算の民生費のうち、地域密着型老人サービス事業所整備事業費補助金は、市内のグループホーム5カ所から要望のあったスプリンクラー設置に対する補助金の補正。生活扶助費等は、生活保護世帯及び保護人員の増加などによる補正。教育費のうち、教育振興費補助金は、各種大会派遣費補助金として大曲小・花館小・大曲中のマーチングバンド全国大会出場に対する補正など。スキー場事業特別会計補正予算は、大曲ファミリースキー場の圧雪車の修繕経費及び協和スキー場の運営費に対する補正などでありました。(写真は西仙北地域のみつば保育園)



建設水道常任委員会

当委員会に審査付託となった案件は、条例案5件、単行案3件、一般会計・特別会計補正予算4件で、いずれも原案どおり可決と決しました。

条例案の「大仙市特別用途地域内における建築物の制限に関する条例の制定について」は、質疑において、大店舗が郊外に進出し、中心市街地がさびれていくという状況の中で、劇場、映画館、遊技場等の建築制限をするのは時代に逆行していないのか、との質問に、郊外にある準工業地域は制限無しにいろいろな施設が建築されてきたが、今後は床面積が1万㎡を超える大規模な集客施設が対象となり制限されるが、郊外から中心市街地へ誘導するのが目的。との答弁でありました。21年度一般会計補正予算(第10号)は、22年4月の業務開始に向け、建築確認業務等準備事務費として、228万7千円。J R負担協定の変更により地方道路交付金事業費に400万円の増額補正等でありました。「成瀬ダムの建設促進を求めることについて」の陳情については、治水、かんがい用水の確保・水道用水の安定供給のためにも不可欠であり、市民生活の安全と安心な暮らしを守ることから、その願意を妥当と認め、出席委員の一致をもって採択すべきものと決しました。(写真は陳情現場を視察する建設水道常任委員)



請願・陳情・意見書

【請願】

- ◇米価の回復と価格の安定、ミニマム・アクセス米の輸入中止を求めることについて
提出者＝農民運動秋田県連合会委員長 佐藤長右衛門
紹介議員＝佐藤文子議員 【趣旨採択】
- ◇EPA・FTA推進路線の見直しを求め、日米FTAの推進に反対することについて
提出者＝農民運動秋田県連合会委員長 佐藤長右衛門
紹介議員＝佐藤文子議員 【採 択】

【陳情】

- ◆改正貸金業法の早期完全施行等を求めることについて
提出者＝秋田県司法書士会会長 鈴木敏夫他 【採 択】
- ◆雇用と生活をまもる施策強化を求めることについて
提出者＝秋田県労働組合総連合議長 佐々木章他 【採 択】
- ◆社会保障と教育予算の拡充を求めることについて
提出者＝秋田県労働組合総連合議長 佐々木章他 【趣旨採択】
- ◆くらし支える行政サービス・人員の拡充を求めることについて
提出者＝秋田県労働組合総連合議長 佐々木章他 【不採択】
- ◆2010年度の年金確保に関することについて
提出者＝全日本年金者組合秋田県本部執行委員長 渡部雅子他 【採 択】
- ◆最低保障年金制度創設などを求めることについて
提出者＝全日本年金者組合秋田県本部執行委員長 渡部雅子他 【趣旨採択】
- ◆後期高齢者医療制度の廃止を求めることについて
提出者＝全日本年金者組合秋田県本部執行委員長 渡部雅子他 【不採択】
- ◆法務局の増員に関することについて
提出者＝全法務省労働組合東北地方本部秋田地方法務局支部大曲分会分会長 須田真史 【採 択】
- ◆若竹町4区町内市道への消雪設備導入に関することについて
提出者＝町内陳情者代表 佐々木猛他 【不採択】
- ◆細菌性髄膜炎ワクチン接種への公費助成を求めることについて
提出者＝新日本婦人の会大曲支部支部長 佐藤絹子 【不採択】
- ◆成瀬ダムの建設促進を求めることについて
提出者＝雄物川水系・成瀬ダム建設促進期成同盟会会長横手市長 五十嵐忠悦他 【採 択】

【意見書】

- EPA・FTA推進路線の見直しを求め、日米FTAの推進に反対する意見書
 - 改正貸金業法の早期完全施行等を求める意見書
 - 雇用と生活をまもる施策強化を求める意見書
 - 2010年度の年金確保に関する意見書
 - 法務局の増員に関する意見書
 - 成瀬ダムの建設促進を求める意見書
- ※上記の意見書は、大仙市議会常任委員会等の提案により議決し、各関係大臣等に要望しました。

先進地に学ぶ！ 建設水道常任委員会視察研修レポート

建設水道常任委員会では12月1日から2日の日程で埼玉県戸田市で「土地区画整理事業」及び群馬県長野原町で「八ツ場ダム建設予定地」の視察を行いました。

戸田市は昭和12年に土地区画整理事業に着手したのをはじめとして、現在まで5地区1,055haで事業が完了し、現在、新曽第二地区で事業を施工しております。同市は都心から20km

圏内に位置し、交通の要衝として産業、住宅、高速道路等の都市の骨格をなす基盤施設が整備され、さらに埼京線の開業に伴い3駅が開設されて以来、人口が急増し、今後も埼玉県南の玄関口として、さらなる発展が見込まれております。

平成20年度に完成した新曽第一地区は市の中央に位置し、北はさいたま市・蕨市に接し、東部をJR東北・上越新幹線及び

埼京線が縦断している状況で都市整備が未整備の中、市街化傾向が著しいため、これに対応するまちづくりへの取り組みを早急に推進する必要性があるため、①住む人の安全に配慮した道路整備 ②洪水に備え、緑地と一体となった地下調整池の整備 ③防災に備えた公園の配置の3点を事業の特色とし、14年間で施工面積91・2haを484億8,700万円の事業費で完了されました。

新曽第二地区は戸田駅前の北側及び東側の40・5haを平成28年度まで整備するもので、事業費は298億円。当市で現在



北戸田駅前での説明を受ける建設水道常任委員

行っている土地区画整理事業と似通う部分が多々見られたことから、今後の参考になる貴重な事例を研修することができました。
(委員長 佐藤芳雄)

議会のトピックス

- 【10月】(前号掲載以降)
- 13日 議会運営委員会
- 13日 議会報編集委員会
- 14日 千葉県木更津市議会行政視察来庁
- 15日 大分県玖珠町議会行政視察来庁
- 15日 宮崎県延岡市議会行政視察来庁
- 15日 東京都昭島市議会行政視察来庁
- 20日 東京都稲城市議会行政視察来庁
- 20日 群馬県藤岡市議会行政視察来庁
- 28日 神奈川県伊勢原市議会行政視察来庁
- 29日 愛知県犬山市議会行政視察来庁
- 【11月】
- 2日 議会運営委員会・会派代表者会議
- 4日 神奈川県茅ヶ崎市議会行政視察来庁
- 9日 第6回臨時会(第1日)
- 9日 第6回臨時会(第2日)
- 9日 決算特別委員会審査
- 12日 第6回臨時会(第2日)
- 13日 宮城県登米市議会行政視察来庁
- 16日 宮崎県宮崎市議会行政視察来庁
- 17日 福岡県嘉麻市議会行政視察来庁
- 17日 宮城県名取市議会行政視察来庁
- 18日 埼玉県川口市議会行政視察来庁
- 26日 議員全員協議会・会派代表者会議
- 27日 議会運営委員会
- 12月
- 12日 建水常任委員会所管事務調査
- 4日 第4回定例会(第1日目)
- 4日 議員全員協議会
- 14日 第4回定例会(第2日目)
- 15日 第4回定例会(第3日目)
- 15日 議員全員協議会
- 16日 各常任委員会審査
- 18日 議会運営委員会
- 22日 第4回定例会(最終日)
- 22日 議会改革等検討委員会

提出された議案と審議結果

(■ 原案可決 ■ 同意 ■ 認定 ■ 承認 □ 継続審査)

【第6回 臨時会】 11月9日～11月12日 (4日間)

- 大仙市議会の議員の議員報酬、費用弁償等に関する条例等の一部を改正する条例の制定について
- 大仙市一般職の職員の給与に関する条例の一部を改正する条例の制定について
- 平成21年度大仙市介護老人保健施設介護サービス事業特別会計への繰入額の変更について
- 平成21年度大仙市老人デイサービス事業特別会計への繰入額の変更について
- 平成21年度大仙市一般会計補正予算 (第8号)
- 平成21年度大仙市国民健康保険事業特別会計補正予算 (第2号)
- 平成21年度大仙市後期高齢者医療特別会計補正予算 (第1号)
- 平成21年度大仙市土地区画整理事業特別会計補正予算 (第2号)
- 平成21年度大仙市学校給食事業特別会計補正予算 (第1号)
- 平成21年度大仙市簡易水道事業特別会計補正予算 (第3号)
- 平成21年度大仙市公共下水道事業特別会計補正予算 (第1号)
- 平成21年度大仙市特定環境保全公共下水道事業特別会計補正予算 (第2号)
- 平成21年度大仙市特定地域生活排水処理事業特別会計補正予算 (第1号)
- 平成21年度大仙市農業集落排水事業特別会計補正予算 (第1号)
- 平成21年度大仙市介護老人福祉施設介護サービス事業特別会計補正予算 (第2号)
- 平成21年度大仙市介護老人保健施設介護サービス事業特別会計補正予算 (第2号)
- 平成21年度大仙市老人デイサービス事業特別会計補正予算 (第2号)
- 平成21年度市立大曲病院事業会計補正予算 (第1号)
- 平成21年度大仙市上水道事業会計補正予算 (第4号)
- 平成20年度大仙市一般会計・特別会計歳入歳出決算の認定について
- 専決処分報告について (大仙市新型インフルエンザ発熱外来センター設置条例)

【第4回 定例会】 12月4日～12月22日 (19日間)

- 副市長の選任について
- 人権擁護委員の候補者の推薦につき意見を求めることについて
- 平成21年度大仙市一般会計補正予算 (第9号)
- 大仙市税条例の一部を改正する条例の制定について
- 大仙市立保育所設置条例の一部を改正する条例の制定について
- 大仙市営住宅条例の一部を改正する条例の制定について
- 大仙市公園条例の一部を改正する条例の制定について
- 大仙市特別養護老人ホーム設置条例及び大仙市老人短期入所施設設置条例の一部を改正する条例の制定について

- 大仙市羽後境駅東集会所施設条例の制定について
- 大仙市長期優良住宅建築等計画認定等手数料条例の制定について
- 大仙市建築基準法関係手数料条例の制定について
- 大仙市特別用途地区内における建築物の制限に関する条例の制定について
- 大仙市太田高齢者等活動・生活支援促進機械施設及び太田東今泉緑地広場の指定管理者の指定について
- 大仙市中仙地域農業総合管理施設の指定管理者の指定について
- 太田関根緑地広場等の指定管理者の指定について
- 大仙市太田地域農産物等活用型総合交流促進施設及び太田新興緑地広場の指定管理者の指定について
- 大仙市立太田就業改善センター等の指定管理者の指定について
- 大仙市神岡生産物直売・食材供給施設の指定管理者の指定について
- 大仙市神岡交流促進センターの指定管理者の指定について
- 協和温泉 (四季の湯) の指定管理者の指定について
- 大仙市南外ふるさと館の指定管理者の指定について
- 太田ふれあいの里及び太田農村体験の里の指定管理者の指定について
- 大仙市まほろば唐松中世の館及び大仙市工学博士物部長穂記念館の指定管理者の指定について
- 大仙市まほろば唐松公園施設の指定管理者の指定について
- 大台スキー場等の指定管理者の指定について
- 史跡の里交流プラザ「柵の湯」等の指定管理者の指定について
- 笹倉公園等の指定管理者の指定について
- 太田南部地区公園等の指定管理者の指定について
- 太田北部地区公園の指定管理者の指定について
- 大仙市立太田農村環境改善センター及び大仙市太田北部地区多目的研修センターの指定管理者の指定について
- 大仙市南外民俗資料交流館の指定管理者の指定について
- 神岡中央公園 (屋内多目的施設) 等の指定管理者の指定について
- 大仙市民プール等の指定管理者の指定について
- 大仙市太田トレーニングセンター等の指定管理者の指定について
- 平成21年度大仙市スキー場事業特別会計への繰入額の変更について
- 平成21年度大仙市一般会計補正予算 (第10号)
- 平成21年度大仙市国民健康保険事業特別会計補正予算 (第3号)
- 平成21年度大仙市簡易水道事業特別会計補正予算 (第4号)
- 平成21年度大仙市公共下水道事業特別会計補正予算 (第2号)
- 平成21年度大仙市農業集落排水事業特別会計補正予算 (第2号)
- 平成21年度大仙市スキー場事業特別会計補正予算 (第3号)



編集後記

市民の皆様、新年あけましておめでとうございます。

昨年12月の大雪から今年も雪が降り続いており大変ご難儀されておると存じます。「だいせん市議会だより」第19号をお届けいたします。

昨年、海外より発生した新しいインフルエンザが日本まで流行いたし、またアメリカより端を発した金融危機が全世界を不況の波にそして日本、私たち地域にもその影響で経済、雇用、デフレと下降線をたどっているのが現状です。この危機を乗り越えるため、県と大仙市でも対策を講じ、合わせて議会とも両輪となり年々厳しくなっている予算についても有効且つ的確に実施し、市民の為に応え、財政運営していかねばならないと思います。

議会だよりは議会や委員会、研修、行政への要望や大小にかかわらず地域の課題など、市民の皆様へ伝える為、編集に努力し議会報の充実に努めて参りますので、今後とも指導、ご協力そしてご愛読をよろしくお願いいたします。

編集副委員長 小松 栄 治 記